

■顧問・関与先様各位

2018年5月のニュースレターです。今月もよろしくお祈りします。

=【人と組織にかかわるハナシ】=====

■あなたが後進に遺したい言葉は何ですか？

- 先月、弊社監査役／阪口武の73歳の誕生日に寄せて私(松下)がこの15年間で「贈られた」言葉を一冊の名言録に纏めてみました。
- 阪口曰く「自身の言葉ですが、元気になります〜」。人を救った言葉が一巡りして、自分を勇気づけるのかと不思議な気持ちになりました。
- この中からいくつかの言葉を紹介させていただきます。



- 「高度成長期の“知恵ある者は知恵を出せ、知恵なき者は汗を出せ、汗も出せない者は去れ”と言われた時代に、松下幸之助翁は“知恵ある者は汗を出せ”と言った。これは、上に立つ者は「現場を忘れてはいけない」ことの教えである。人事パーソンも決して“現場を忘れてはいけない”
- 「マネジメントとは、自分の意思を、人を動かして実現することです。人を動かすとは、人に動いてもらう、人に助けてもらうことです。だからね、あんちゃん。人に助けてもらえる人になりなさい」
- 「まず思う。人は信じてもらえないことに努力できるはずがない。強力な願望を描き、心からその実現を信じていることが、困難な状況を打開し物事を成就させる」
- 「人事制度は、経営理念と人事理念を実現するための仕組みである。“制度の良し悪し”が50%、“従業員が前向きに制度改定を受け入れられるか”が50%」
- 「労務管理において最も大切なことは、労働者一人ひとりが生き生きと働ける職場の環境を整えることです」
- 「人事評価の納得性は、“評価者への信頼度のバロメーター”。人は、人事評価制度や基準に納得するのではない。人は評価する人そのものに納得する。評価への納得性は、評価者への信頼度と比例する」

※言葉は影響力があります。しかし言葉には揮発性がある。だから言葉を「文字」に遺す価値は多大だと信じています。
※阪口と御縁がある方には後日持参させていただきますね。

=【先月の現場より】=====

■足りないものを、当たり前にする。

- 先月お伺いした先様。社員同士の対話に自己&他者信頼があり、拝見して心地いい。まさに自由闊達、切磋琢磨。役員の方にそんな話をしたら、曰く、

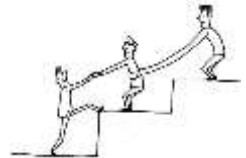
「弊社の前々社長は“自由闊達”を理念に掲げていました。できていないからスローガンにするんです。今、それは風土に根付いている。だからもう今は、経営理念ではないんですよ。」



※なるほどなあ。大切にしたいから言葉にする。また、手に入れたものを言葉にする。左記の阪口は、スローガンに迷子にならないための「ポラリス(北極星)」だとも語ります〜

■先輩の1~2年の実体験を新人達の糧にする組織。

- 先月、某社の新入社員研修で。10名程の新人達の後ろには入社2~3年目の先輩社員が20名ほど。そう、講師役の私ひとりでも10名の新人達のマナー指導をするのではなく、新人1名に2名の先輩がサポート指導に入る。ぎこちない新人に付き添いながら、先輩達も自分の経験談を添えながら、電話対応や訪問対応のロープレになりました。



※新人研修は外部講師に一任するのではなく、それすら先輩が支援する発想。講師が出る幕なし、の先輩の指導ぶりでした！

■新人に伴走するトップがいる組織。

- 別の某社新人研修にて。白板を消しているのは社長。曰く「研修の環境を整えてやるのも私の仕事〜」。



※そうさせる新人の姿があるのもまた事実。

=【人づくり関連情報紹介】=====

■費用対効果を考えてみては。

- 経団連「2017年人事・労務に関するトップ・マネジメント調査結果」より。会議の効率化 もっとも有効だったのは「議事録の廃止」(75.0%/実施率5.2%)だったとのこと。

<http://www.keidanren.or.jp/policy/2018/004.pdf>

■セミナー情報■

弊社主催セミナー／☆人事フォーラム「庵-いおり-」☆ <http://oan.co.jp/iori>

【残席わずか】6/11(月)、今回はフィールド学習。テーマ「働き方改革」その次へ！詳細は弊社サイトで。

【公開セミナー】2018年6月中旬迄に松下が実施の公開セミナー♪

- 5/17(木) 部下を持つ女性のための“仕事力向上研修”(NCBリサーチ&コンサルティング/福岡)
- 5/28(月)、6/15(金) 人事担当者の基礎知識(人事のしくみ編)(みずほ総合研究所/東京、大阪)
- 5/29(火) 新入社員 指導担当者・メンター即戦力養成講座(三菱UFJリサーチ&コンサルティング/東京)
- 6/4(月) 人事部門の働き方改革『人事業務の効率化』(みずほ総合研究所/東京)
- 6/6(水)~8(金) 人事労務入門講座(労務行政/大阪)
- 6/12(火) 管理職が抱える6つの不安と解決ポイント(みずほ総合研究所/東京)
- 6/13(水) 『人材育成担当者の実務』入門(みずほ総合研究所/東京)

※2019年3月までに予定されている公開セミナーは弊社サイト (<http://an1139.blog.fc2.com/>) でもご案内しています。



出張先の名古屋のホテルにて。朝食バイキングには当然のように「あんこトースト」が鎮座♡♡♡

＝【社労士あん、より人事労務、時事ネタ】＝

■「働き方改革」も、そろそろ次ステージへ。

内閣は「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律案」を閣議決定し、通常国会に提出。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/soumu/houritu/dl/196-31.pdf>

それを受けてか、経団連は働き方改革を加速させるため、会員企業における自主行動計画「働き方改革アクションプラン」の策定を呼びかけています。

<http://www.keidanren.or.jp/policy/wlb/actionplan.html>

※事例が多々掲載されています。そして衆知を集めて叡智に。最後は自社で考えるよりほかにありません。



■システムは、手間を省く？手間を増やす？

厚労省が、サイト上の入力フォームから必要項目を入力印刷することで、労基署等に届出が可能な以下の4種類の書面を作成することができるサービスを開始しました。

<http://www.startup-roudou.mhlw.go.jp/support.html>

※仕事においては、「手を抜く」のではなく、「手間を省く」。活用できるものは活用するの手！
※一方では、最近のシステムを活用することが、むしろ手間を増やす可能性も。取捨選択です。



■やはり事例が具体的であるほど、役に立ちます。

厚労省は先月、「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」をリニューアル。企業・医療機関連携のためのマニュアルと事例が加えられました。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000115267.html>

※連携のためのフォーマットは、よりイメージできて有効です。

■老舗！人事労務系専門誌「労政時報」より

* 見出しから人事のトレンドをつかんでください。

【2018年4月13日号】

- ◇【特集1】懲戒制度の最新実態
- ◇【特集3】2017年管理職構成の実態

【2018年4月27日号】

- ◇【特集1】新たな働き方のルールづくり
- ◇【特集2】短時間正社員制度



＝【チームあん、からのお知らせ】＝

■【予告】弊社サイトをPCベースからスマホベースへ

弊社サイト。人事パーソンの方がアクセスされることが多々ということで、PCベースで制作してきましたが、最近スマホからのアクセスが40%を超えたことが判明。

※要は事務所ではなく移動中やご自宅での閲覧が増加しているということ？
※近日中に、スマホからでも見やすくしていきますね。



＝【【あん】のネットワークより♪】＝

弊社のパートナーや友人・知人の方々をご紹介するコーナー。今月は、ミャンマーからアジア各国への技能実習生派遣に意欲的に取り組んでいる**哲也さんこと Mr. WinTun**。哲也さんに初めて会った翌々日、ヤンゴンのシュエダゴン・パゴダでばったり再会。その時から、「なんが御縁あるよねー」と懇意にさせていただいています。会うべき人には、出会い続けるものなのかしら^-^

■思いがある上、行動派。愛嬌たっぷり…無敵です。

- ある時はミャンマーの国家公務員医者、ある時は海外人材派遣事業協会の副会頭、日本語のみならずタイ語や英語に堪能。初対面の際「一体何者！？」と聞いたら、「哲也と呼んでください！」とにっこり笑ったのが、彼、自称哲也さん。
- つい先日、広島出張中に突然電話が架かってきて「松下さん今どこ？私は今新大阪にいます！」なんていう行動派。
- そんな哲也さんは、ミャンマーで海外人材派遣に取り組むつつ、その前提となる技能職業訓練や日本語学校の事業を通じて、送り出す実習生の育成にも力を入れています。



※外国人技能実習制度を活用して、社内の活性化や多様性の理解促進に繋げている事例が私の周りにも増えてきました。
※ご興味がある方は御一報ください。(文責/松下)



哲也さんの経営する日本語学校にて。生徒たちは翌月にも、日本に実習に来られる方々。教科書にたくさんの書き込みをしていたのが印象的でした。「私何オに見える？」と定番のおぼちゃんトークに、「30才！」と応えた彼らは日本でもきつとかわいがられるな…と直感で思いました。笑。

■Myanmar Worker Management Services
代表 / Mr Win Tun

<http://myanmarworkersmanagement.com/>

【編集後記/近況報告】

弊社の元アルバイトM君が、シェフ見習いとして働いているイタリアンで、みんなとランチ。「カローゾ」で検索あれ。大満足保証します。



株式会社オフィスあん
AZ合同事務所、社労士オフィスあん
大阪市淀川区宮原1-7-7
電話:06-6392-1139

<http://www.oan.co.jp/>